

藤波こども園

令和5年度 園長だより No.7

令和5年12月5日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

寒くなっても元気な子どもたち

今年の冬はどんな天気になるのだろうかと心配するほどに寒さを感じる季節となりました。でも子どもたちは寒さに負けることなく、元気いっぱい、園庭を飛びまわったり、自分たちがやりたいことを提案したりして、毎日を楽しんでいます。



今年もいただきました 「とってもおいしい焼きいも」

泰山寺や三重生、さ

くらんぼ広場で掘った
サツマイモを、大師山ボ
ランティアサークルの森
田一男さんをお願いし、



焼きいもをしていただきました。森田さんの手作りの道具を見た子どもたちは「トーマスだ」「トーマス



がお芋を焼いてくれている」と大はしゃぎ。約2時間かけてじっくりと焼かれたお芋を子どもたちはおやつ

の時間に「おいしい」「トロトロ」と大喜びでいただいていた。約200個のサツマイモを焼くために、梅村頼子さん(藤江)、梅村厚子さん(藤江)、梅村三知子さん(今在家)、万木艶子さん(横江)の4名の方に洗ってホイルに包む作業をしていただきました。



森田さんは市内の小学校やこども園にこの手作りの道具を持って行き、焼きいもをされているそうで「多くの子どもが18



歳になれば市外に出て行くだろう。高島市でのいい思い出を持ち続けてほしい。」と言っておられました。藤波の子どもたちもこのおいしかった焼きいもの味をきっと忘れないでしょう。

月組から星組への引き継ぎ 「あとのこと、よろしくね」

クラス(年齢)別で



取り組むこともたくさんあり、徐々にいくつかのことが引き継がれていきます。先日は月組から星組に畑の引き継ぎが行われ、月組の子どもたちがスコップを持って「こうして土を柔らかくするんだよ」と伝えていました。星組の子どもたちは早速酒井さん(昨年度卒園児のご家族さん)からいただいたタマネギと嶋崎ひな子さんからいただいたイチゴの苗を植えていました。

Jアラートに敏感に反応



11月2日に行いました引き渡し訓練にご協力いただき、ありがとうございました。万が一の場合、保護者の方に素早く、確実にお子さんを引き渡すことができるよう、私たち職員も訓練をさせていただきました。緊急事態が発生して引き渡しが必要となった場合は、今回の訓練と同様にメール配信をさせていただきます。その際にはご協力いただきますようお願いいたします。

ちょうど同じ日の午前、全国瞬時警報システム(Jアラート)の訓練が行われました。子どもたちにはその訓練については知らせていなかったのですが、市の防災無線で放送が始まるやいなや、それまで園庭で散り散りバラバラに遊んでいた子ども



たちが、自分の近くにいる保育者のところに駆け寄り、しゃがんでいました。その様子は園内で過ごしているときだけでなく、星組の子どもたちが藤樹神社に出かけたときも同じ状況でした。もしもの場合にはどうすべきか、わかっているようです。



工事現場をドローンで見学



CESAに加盟されている大山建設さんより、園児に工事現場のバーチャル体験をさせてあげようと提

案があり、建設工事についての電子紙芝居をしていただいたり、ドローンでの工事現場の見学では、インターネットでつながれた工事現場から重機車両を見せていただいたりしました。リモートでつながった現場からの様子を見せていただいた後の質問タイムでは、「どうやって土を運ぶのですか?」「砂防マンはどのように作るのですか?」などの質問があり、説明いた



だいた方から「園児さんから工事の内容に関する質問が出るとは思わなかった。レベルが高い。」と感心しておられました。説明の後は園庭での記念撮影が行われ、頭上を飛ぶドローンに子どもたちは喜んでいました。

「発表会、やりたーい」



運動会と同じように、子どもたちから「発表会やりたい」の声が上がり、どんなことをしようか、どんな道具がいるかなあ、

などの相談をしながら12月8日の開催に向けて取り組んでいます。「発表会」に向けて取り組む中で“みんなと一緒に活動することの楽しさ”“一生懸命に取り組むことによる充実感”を感じてもらえれば、と思います。

